

開催できたことに感謝

過去に例のない状況での成人式について、実行委員長丸山風斗さんにインタビューを行いました。



▲ 成人式実行委員長を務めた丸山風斗さん

—このような状況の中、開催できたことについてどう思いますか。

新型コロナウイルスの影響が、年末からさらに広がっていたので、とても不安でした。また、ニュースなどで中止をする自治体があると聞きました。しかし、検温や消毒、マスクの着用など対策を行い、成人式を開催できたことを嬉しく思っています。関係者の皆さんに感謝を伝えたいです。

—工夫したことはありますか。

成人式自体が初めてなので、まず何をしたいか、制限がある中でどうしたら楽しんでもらえるか、実行委員会のメンバーと会議を重ね、意見を出し合い考えてきたことです。

—成人式では、どのようなメッセージを伝えたいですか。

まずは、親に感謝したいです。「ここまで育ててくれてありがとう」と言いたいですね。また、関係者の皆さんにこのような場を設けていただき、感謝しています。もちろん、一緒にやってきた実行委員会のメンバーや式に参加してくれた人にも「ありがとう」と伝えたいです。

—最後に、一言お願いします。

あわら市はとても素敵なお城であり、そこで成人式を開催できたことに感謝しています。新成人としての自覚を持ち、胸を張って生きていこうと思います。



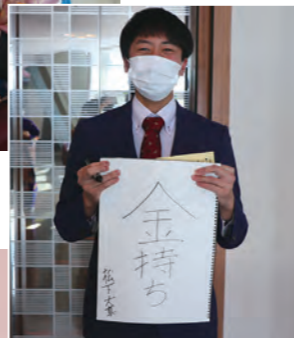
笑って成人式を迎えることができました。皆さんに感謝を込めて「ありがとう」と伝えたいです。

インタビューにとても丁寧に答えてくれた丸山さん。福井大学に通っており、英語の勉強をしているそうです。忙しい中、ご協力ありがとうございました。



新成人の抱負

新成人の皆さんに抱負を聞きました。今回は、その一部をご紹介します。



令和3年あわら市成人式 夢や希望を持ち、明るい未来へ



一生に一度だから

令和3年あわら市成人式を、1月10日(日)にグランディア芳泉で開催しました。当日は大雪により開催が危ぶまれましたが、あわら市では未明から周辺の除雪に注力し、参加者の安全に配慮しながら成人式を開催しました。日中は日が差すこともあり、芦原地区85人、金津地区113人の新成人が参加して、新たな門出を祝いました。

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場を芦原地区と金津地区の2つに分け、時間差で行うことに加え、2週間前からの健康管理や検温、マスク着用の徹底、大声での会話の禁止を求めると、さまざまな制約の中での開催となりました。

今年の成人式のテーマは「舞」。このような大変なときだからこそ、明るい未来を切り開くよう大きく舞いたいとの思いが込められています。

会場の新成人からは、コロナ禍と大雪という困難の中での開催ゆえの感動や感謝の声が多く聞かれました。

コロナ禍の影響や当日の大雪のために成人式の中止や延期を決定する市町もあつた中、一生に一度の大切な成人式を成功させるため何度も会議を開き、試行錯誤を重ねて準備を進めてきた実行委員や、リモートで参加した人を含めた新成人の皆さんにとって、忘れ難い成人式となったことでしょう。